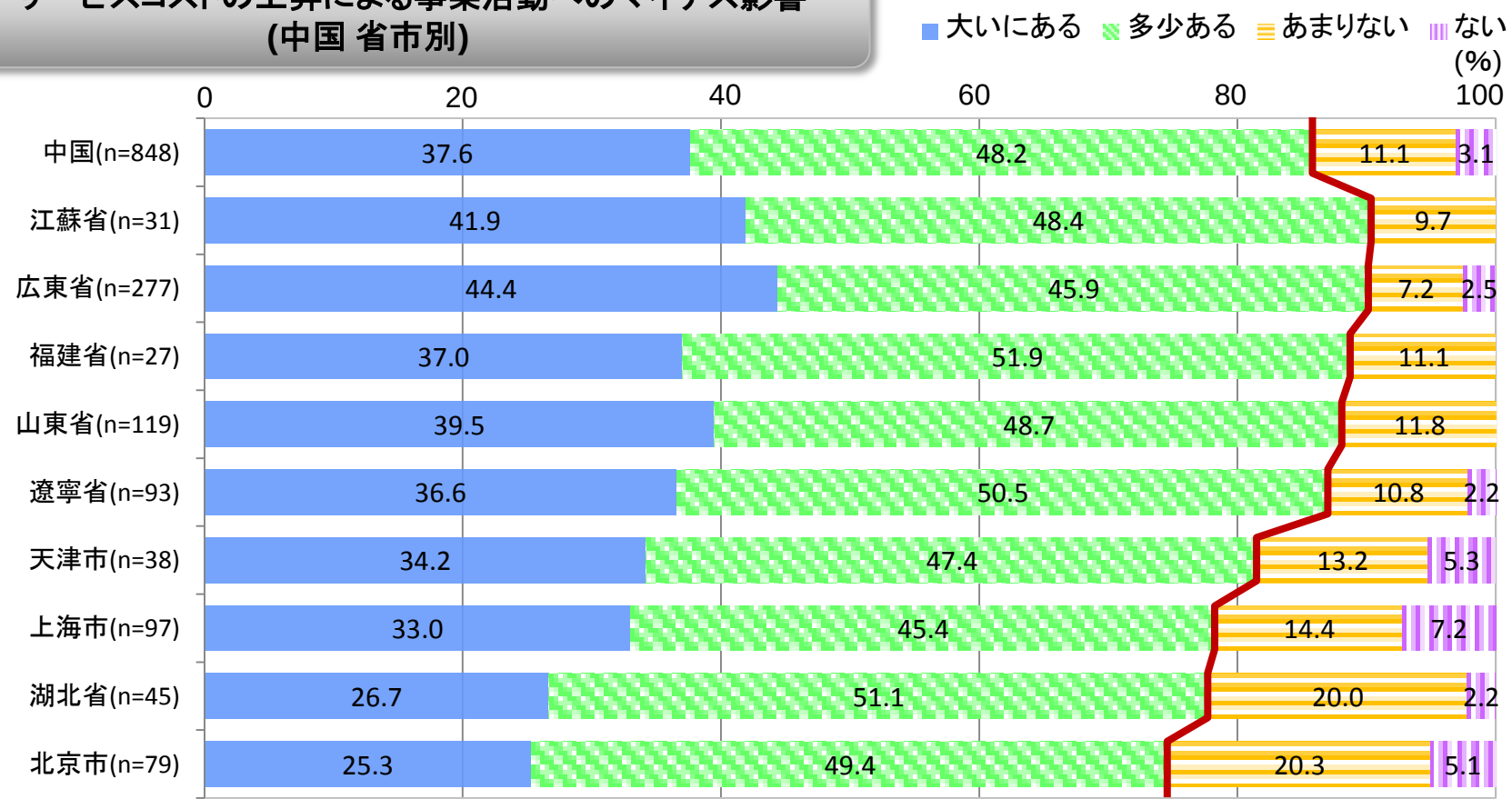


5. 製造・サービスコストの上昇(1)

製造・サービスコストの上昇による事業活動へのマイナス影響
(中国 省市別)

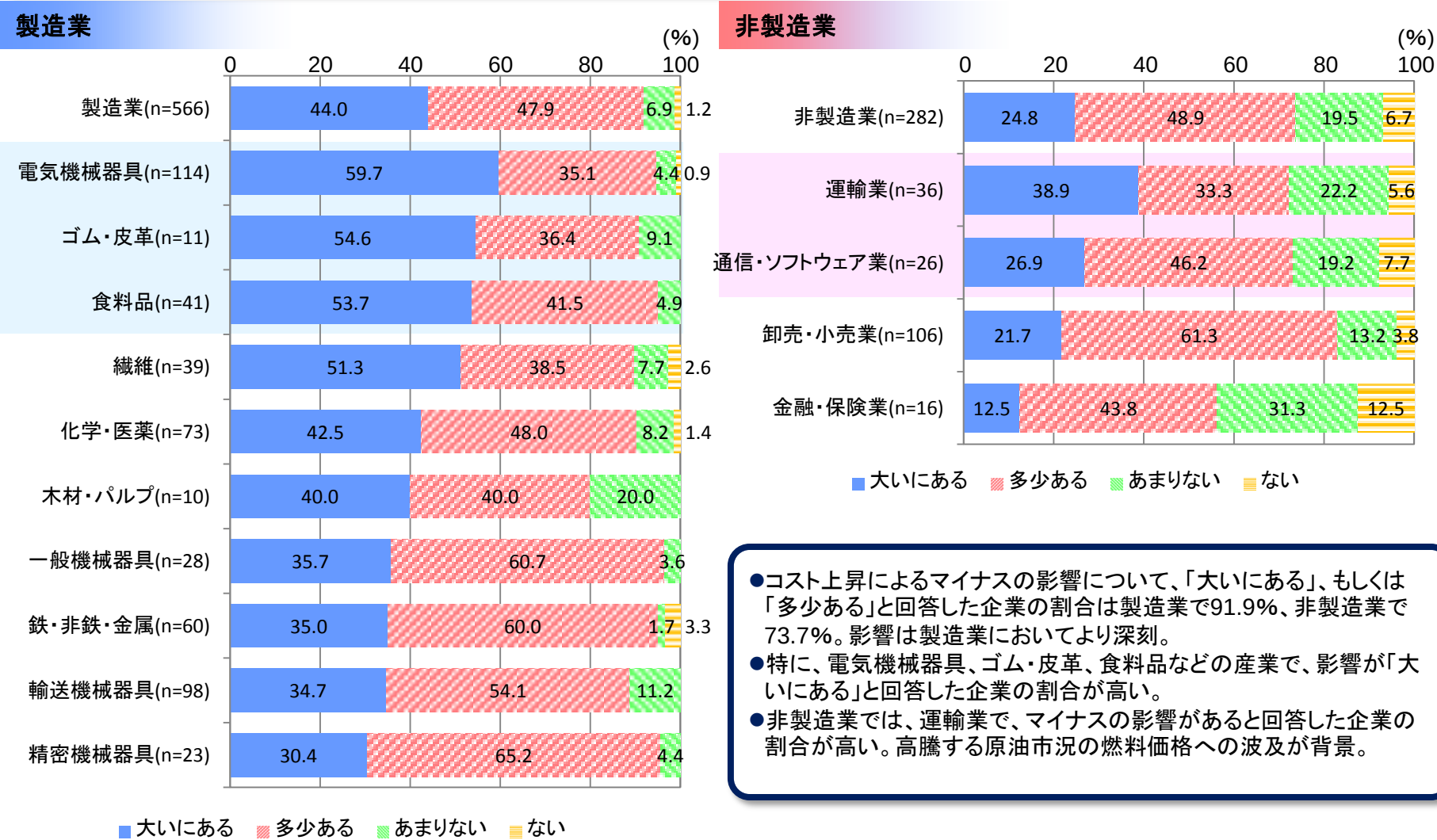
注:n≥10の省市。



- 人件費・エネルギーおよび原材料価格の高騰に伴う製造・サービスコストの上昇が事業活動に与えるマイナスの影響について、「大いにある」、「多少ある」と回答した企業の割合は合わせて85.8%。
- 省市別に、マイナスの影響を受けている企業の割合は江蘇省、広東省がともに90.3%で最も高く、福建省、山東省、遼寧省が続く。

5. 製造・サービスコストの上昇(2)

製造・サービスコストの上昇による事業活動へのマイナス影響
(中国 業種別)



●コスト上昇によるマイナスの影響について、「大いにある」、もしくは「多少ある」と回答した企業の割合は製造業で91.9%、非製造業で73.7%。影響は製造業においてより深刻。

●特に、電気機械器具、ゴム・皮革、食料品などの産業で、影響が「大いにある」と回答した企業の割合が高い。

●非製造業では、運輸業で、マイナスの影響があると回答した企業の割合が高い。高騰する原油市況の燃料価格への波及が背景。

5. 製造・サービスコストの上昇(3)

コスト上昇による対応策の実施(検討)状況 (中国 複数回答)

	回答項目	回答率 (%)
1位	管理費・間接費などの経費節減	53.3
2位	原材料調達先・調達内容の見直し	47.2
3位	現地調達率の引き上げによるコスト低減	32.5
4位	人材の現地化の推進、人件費の削減	31.8
5位	製品(サービス)価格の引き上げ	31.1
6位	自動化・省力化の推進(産業用ロボットの導入等)	23.8
7位	取扱製品の見直し(整理、改良、高付加価値化など)	22.4
8位	量産・量販によるコスト引き下げ	21.7
9位	製造・サービス機能の一部を本土内他地域へ移転	2.0
10位	製造・サービス機能の一部を本土外へ移転	1.4

全体(n=718)

注:n≥10の業種。

各項目の回答率の高い上位4業種			
1位	2位	3位	4位
運輸業 (72.0%)	輸送機械器具 (64.4%)	食料品 (60.5%)	鉄・非鉄・金属 (57.1%)
ゴム・皮革 (70.0%)	一般機械器具 (69.2%)	化学・医薬 (63.6%)	精密機械器具 (61.9%)
ゴム・皮革 (70.0%)	輸送機械器具 (65.5%)	精密機械器具 (57.1%)	電気機械器具 (46.3%)
運輸業 (52.0%)	輸送機械器具 (37.9%)	卸売・小売業 (37.2%)	鉄・非鉄・金属 (32.1%)
食料品 (65.8%)	繊維 (52.9%)	化学・医薬 (37.9%)	卸売・小売業 (37.2%)
電気機械器具 (41.7%)	輸送機械器具 (40.2%)	ゴム・皮革 (40.0%)	食料品 (36.8%)
繊維 (35.3%)	食料品 (31.6%)	電気機械器具 (26.9%)	卸売・小売業 (26.7%)
繊維 (35.3%)	輸送機械器具 (33.3%)	鉄・非鉄・金属 (30.4%)	食料品 (23.7%)
繊維 (14.7%)	一般機械器具 (3.9%)	電気機械器具 (2.8%)	卸売・小売業 (2.3%)
精密機械器具 (4.8%)	電気機械器具 (3.7%)	繊維 (2.9%)	輸送機械器具 (1.2%)

●コスト上昇への対応策では、「管理費・間接費などの経費節減」が53.3%で最大。特に、運輸業(72.0%)で高い。